

7日

はいししょう

拝誦仕候。雅邦

翁の鯉魚は

おおい

必ず大に見るへきものと

そうらえどももと

存候へ共、固より

写生的のものにあらざるへし。且、

かつ近頃同氏殊ことに繁これあり

忙に有之候。写生

的に候はば、川端玉章

よろし

氏宜敷かるへく、又、若

手有為の人にては

下村観山、寺崎広業

山田敬中等の鯉魚

面白かるへく存候次第

に依り、小生より依

よろしく

頼候ても宜敷候間、

そのせつ

其節は大き物質

おもうしこしくだされたく

等御申越被下度候

右御答迄

岡倉覚三

八月二十七日

阪谷老台

侍史